◇アンケート集計結果

項目	意見・提案の整理
広場の活用・機能	・広場の活用方法について、さまざまな意見やアイデアを知ることができた。 ・井戸水や自動販売機、携帯電話の充電設備など、地域の人が利用できる機能があるとよい。 ・ベンチ、スツール、テーブルなどを設置し、誰もが気軽に過ごせる場所にしてほしい。 ・ミニ菜園やコミュニティサロンなど、地域の交流につながる場を設けてほしい。
自然・みどりの創出	・「自然」を広場の魅力として挙げる意見が多かった。 ・けやき公園との緑のつながりを意識し、みどりが連続する空間にしてほしい。 ・野鳥や昆虫も訪れるような、自然豊かなナチュラルガーデンをつくってほしい。 ・もみじ、しだれ桜、桜、温州みかん、ゆず、柿など、さまざまな樹木を植えてほしい。
健康・憩い・交流	・子どもたちが外遊びを楽しめるとともに、大人も憩いや交流の場として利用できる、地域のオアシスとなる広場にしてほしい。 ・子どもから高齢者まで幅広い世代が利用でき、健康づくりや医療費の抑制にもつながる屋外健康器具を充実させてほしい。
防災・安全	・防災機能を備えた広場にしてほしい。 ・災害時にも活用できる手こぎ井戸やミニ防災倉庫などを設置してほしい。 ・防災の視点を取り入れた広場づくりが新鮮だった。
住民参加・協働によるまちづくり	・まちづくりは地域住民が主体となって進めるものであり、住民の自由な意見や提案を受け止め、区と住民が協働して広場の計画をつくってほしい。 ・縦割り行政や道路整備を前提とするのではなく、住民の意見を幅広く取り入れた柔軟な検討を進めてほしい。
広場の整備方針・土地利用	・主要生活道路 106 号線の道路計画を白紙に戻し、南北両側の区有地を一体的に活用して、より広いコミュニティ公園・広場を整備してほしい。 ・道路整備やアスファルト舗装を優先するのではなく、みどりや自然を確保した広場づくりを進めてほしい。 ・地球温暖化や異常気象、ヒートアイランド現象、豪雨時の水害などへの対策として、舗装面を減らし、みどりや土のある空間を確保してほしい。

※ご意見等については、趣旨を損なわない範囲で要約するとともに、記載内容を踏まえて項目ごとに整理しています。
また、読みやすさの観点から、誤字脱字の修正や句読点の補完などを行っています。